広報 あかほり 第44号

2019年(平成31年)3月29日発行
人権プラザ赤堀(TEL059-351-7609 FAX059-351-7608)
http://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/genre/1000100000179/index.html

「四日市市部落差別をはじめとするあらゆる差別を無くすことを目指す条例」（抜粋）

四日市市部落差別をはじめとするあらゆる差別を無くすことを目指す条例　(抜粋)	(目的)　第1条　この条例は、日本国憲法及びあらゆる形態の人種差別の撤廃に関する国際条約その他の人権に関する条約の理念にのっとり、すべての市民に基本的人権を保障し、部落差別をはじめ、女性差別、障害者差別、外国人差別など、あらゆる差別を無くすための市及び市民の責務並びに市の施策について必要な基本事項を定めることにより、すべての市民が人として尊重され、明るく住みよい人権尊重都市四日市市の実現に寄与することを目的とする。 (市民の責務)　第3条　市民は、前条の規定により市が実施する施策に協力するとともに、基本的人権を相互に尊重し、自らも差別及び差別を助長する行為をしてはならない。

人権プラザ赤堀運営委員会
委員長　辻山　忍

平素は人権プラザ赤堀の活動にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

昨年は、それを象徴する一文字が「災」と表されたように、異常気象による自然の猛威が、全国各地を悩ませました。

私たちの周りを振り返れば、昨年五月、赤堀人権のまちづくり推進委員会の活動で、様々な国の持つ食文化を通した交流をねらった、赤堀カーニバルが開催され、それぞれの国に縁のある皆さまの出店やご協力を得て、盛会となりました。十月の赤堀ふれあいまつりにおいても大盛況で、絵にかいたような秋晴れの中、テーマに相応しい、「みんなが笑顔になる」シーンが提供されたところです。

また、子どもたち主体の常磐地区子ども人権文化育成協議会の活動においては、いろいろな分野で活動の内容が充実期を迎えており、日々、児童集会所に若い元気な声が鳴り響いております。

私たちは、赤堀を拠点に内外の交流を活発化し、そこに集う様々な参加者の皆さまをはじめ、主催者や支援スタッフそれぞれの、心のふれあいを目指して参りましたが、そのねらいも年々、ジワリジワリと広がってきているような気がしています。

こういった年月を経た出会いをエネルギーに変え、より精力的に取り組み、人権意識醸成の基盤育成のため、さらに歩みを進めたいと考えております。

長く発信の役目を担ってきた広報あかほり、十年前、二十年前のページに戻れば、今、地域を担う原動力となっている人たちの幼少の様子や、今は見られない当時の町の様子などが浮き上がって参ります。

まさに今二〇一九年、新しい時代への橋渡しにより、果たして次はどのような時代が訪れるのか、期待と希望の心持ちで明日に臨みたいと考えております。

「人権尊重都市宣言」1992年12月22日

すべての人々の基本的な人権が尊重される自由で平等な社会の実現は、人類共通の願いであります。

しかし、私たちの身のまわりには、今なお因習や偏見などによるさまざまな人権問題が存在しています。人権が侵害されることは、いかなる理由であっても許されることではありません。

人が人として尊ばれる明るく住みよい社会を築くため、私たちは、ここに四日市市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

「日本国憲法第14条」

すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

発表を終えて

四日市市立常盤中学校　岡﨑真寿

四日市市人権・同和教育研究大会「学力・進路保障」の分科会で報告するにあたり、職員間で本校生徒の現状と課題を再確認しました。その中から見えてきた課題の解決に向けて、以下の三点に重点を置いた実践を進めました。

①生徒の自己実現に向け、人権学習のカリキュラムの構成を見直し、差別解消に向けて行動できる力をつけていくこと。

②生徒の基礎的・基本的な学力の定着に向けて授業を中心とした学びを深めていくこと。

③学校・保護者・地域がそれぞれどのような支援が必要かを見据え、情報を共有して連携を強めていくこと。

①では、人権学習の取り組みとして、二年生で部落問題学習を行いました。学習後の生徒のアンケートから、「みんなの力で差別をなくすように努力すべきである」また「自分が差別しないように努力すべきである」と考える生徒が多数見られました。時間がかかるかもしれませんが、繰り返し学習を行うことでさらに思いを深め、個々の内面まで行きわたる行動力の育成に取り組むことが必要であると感じました。

②の基礎的・基本的な学力の定着に向けて、毎日の授業の充実はもちろん、学力補充として、十分間の基礎学習タイムやテスト期間中の学習質問会を行いました。また、家庭学習の定着というねらいをこめて自主学習ノートの取り組みを行いました。個に応じたペースで進められ、主体的学習が図られるという点では効果がありましたが、本来の家庭学習の定着にはまだまだ工夫が必要であると感じました。

③では、度重なる家庭訪問や地域の催しに積極的に参加することで連携を図りました。生徒をとりまく人々とのつながりができ、生徒の自己実現に向けて思いを出し合い、協力して粘り強く取り組む機会を多く持つことができました。

発表に際して、校内研修はもちろん分科会討議等で学んだこととして、生徒個々がなかまとのつながりから生きる力を高め合うということ、その力が、生徒が自己実現に向かうエネルギーに変わり得ることを強く感じました。

これらの取り組みで得たものを広げていき、つながりを大切にした人権学習の推進と、差別解消に向けて行動できる実践力の養成を図り、生徒の自己実現推進に向け努力したいと思います。

自治会活動

7/26 育成会（デイキャンプ）

8/25 夏祭り

12/20 育成会（クリスマス会）

成人講座

第一回成人講座　六月十二日
お天気から考える災害と人権
～災害から命を守るために必要な知識と連携～

気象予報士（テレビ東京・ＮＨＫ 甲府）　石榑　亜紀子 さん

第一回成人講座は、地元四日市市出身で気象予報士としてメディアで活躍する石榑亜紀子さんを招きました。気象・天候の予報を伝えるという切り口から防災やそれに係る人権を考える内容でした。

　気象の予報は、人々の防災・安全を期すためにあることや、予報の正しい理解の仕方について、大変わかりやすく説明してくれました。

　防災という営みは、他と力を合わせることで効果が高まることを踏まえ、日常からの生身の人とのつながりの大切さを実感できるひと時でした。

　当地は、昭和四九年の水害からの復興を契機に、人々のつながりによりまちづくりが進んできた歴史があり、今回の講座の持つ意味を深く理解して今後に備えたいという思いが広がりました。

　最後に石榑さんは、いかにもTVで見られるような、「明日の四日市市の天気予報」の実況をキャスターらしく演じ、講演を締めくくられました。

第二回成人講座　十一月十二日
～同和教育をベースに～

近江八幡市立八幡西中学校教諭　三輪　邦雄 さん

第二回は、現役の中学校教員である三輪邦雄さんを迎えました。

　話の構成は、三輪さんの幼少時代から今ある教師としての現在まで、（境遇ゆえに）様々な悲惨な体験を積んできた実話が中心になりました。

　極貧の生活、父母不在の祖父母との生活、周りの同じ境遇に育つなかまや先輩とのやり取りなど、その厳しさに聴く者がシリアスになりそうな局面ほど明るい語りで、我々が勇気をもって行動するための一歩に向けて手を差し伸べられました。「乗り越えてきた者」の芯の強さに伴った優しさに共感した人も多かった様子です。

　講演の後には、「相手のことを慮り踏み込めずにいたが、実際に踏み込んでみようと思う」といった実践的側面につながる感想が多々見られました。

　このテーマ「同和教育をベースに」から、私たちには、「かかわりをつなげていく」という日々の取り組みに必要な核の部分を改めて確認できました。

第三回成人講座　二月五日
～子どもが元気になる子育て、保育・教育～

びわこ成蹊スポーツ大学客員教授　園田　雅春 さん

子どもの「自尊感情」を高めるには？と考える良き機会になった講座でした。子どもと関わる保護者や教員、また地域や機関の誰もがうなずきながら話に聞き入りました。講師の園田さんは、人権に係る様々な分野に多くの著書があり、また月刊誌等でコラムを担当されていることもあり、よく知られファンも多いところです。

　園田さんが学校やその周りで出くわした事例から、私たちがどう実践していくべきかのヒントをたくさん出していただきました。その中でも特に、おとなが子どもと接するときに、「自分自身をちゃんと見ていてくれるという安心感」を子どもに感じさせるつながりを持つこと、また、子どもは、自分そのものの存在を常に認めてくれているおとなであってほしいと切望していることに気づくことが大切であると、参加者は理解できました。

　「『あなたがいるだけでいい』誰かがそう言ってくれたら、それだけで生きていける」という日本公共広告機構のコピーの一文を理解することが、私たちの求める「自尊感情」の出発点であることを示唆してくれました。この講座で元気づけられたという参加者の声が、多く聞かれました。

マスコットキャラクター
にこりん

赤堀人権のまちづくり推進委員会

「赤堀人権のまちづくり推進委員会」は、いろいろな活動を通して「住みやすい・住みたいまち」になるよう取り組んでいます。さまざまなイベントや講演会、ボランティア活動などを実施し、お互いが理解し尊重しあえる仲間づくりを目指しています。委員会には３つの部会と９つの加盟団体があります。それぞれの活動を通して、みんなで楽しく交流を進めています。

全体行事１

第11回 赤堀ふれあいまつり
10月21日（日）

「笑顔でつなげるまちづくり」をテーマに、今年も赤堀ふれあいまつりを開催しました。昨年の台風襲来とは打って変わった晴れ渡る空のもと、多数のお客様を大勢のスタッフが出迎え、「笑顔あふれる楽しいまつり」となりました。

ゆるキャラ９体　大集合

太鼓（ゆう）のみなさんの迫力ある演奏

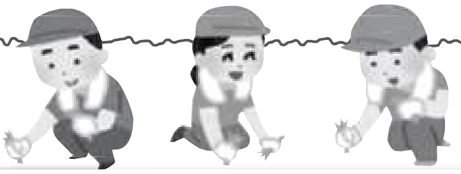
AKAHORIカーニバル
５月20日（日）

「赤堀発！多文化共生」を目指し、国際交流の糸口としていろんな国のお料理を提供し、その国の人たちとの交流を楽しんで頂きました。初めて食べる味に舌鼓をうち、音楽の流れる場内で楽しいひと時をすごしました。

赤堀のゆるキャラ「ホリン」も登場

人権のまちづくり

全体行事2



まちづくりコンサート（6月）

視察研修（6月「紬松人権歴史館」、11月「川本喜八郎人形美術館」）

鹿化川ボランティア清掃（5月、11月）

分譲地草刈（4月、10月）

赤堀天白交流会（6月ソフトボール、7月デイキャンプ）

まちづくり部会

調査・研究部

地域の文化や歴史についての調査研究や、赤堀のまちおこしに繋げるための食の研究をしています。

記録・広報部

まちづくり活動を収録し人権啓発に活用しています。「ふれあい通信」や「視察研修ガイド」も作成します。

啓発・研修部

赤堀人権のまちづくり推進委員会が主催する人権啓発研修の企画・立案を行います。

加盟団体

人権啓発「コラソン・赤心」

身構えることなく、楽しく人権について学んでもらえるような啓発活動をしています。

パソコン普及「パソパル」

パソコンを通してなかまづくりやパソコン指導等をしています。土曜日に勉強会を行っています。

伝統文化普及　太鼓「ゆう」

毎月２回、赤堀児童集会所で太鼓練習を行っています。ジュニア太鼓クラブの指導もしています。

地域福祉「ひだまりの会」

いつまでも元気で暮らせるようにみんなで頭と体の体操をしたり、健康づくりに取り組んでいます。

環境美化「すぎな」

「自分たちのまちは自分たちできれいに」との思いで、地域の環境美化に取り組んでいます。

多文化共生「レア・レイ」

外国と日本の文化交流を図るため、いろいろな国の人を招いて母国の料理教室を開催しています。

食文化「彩（いろどり）」

料理教室を開催し、季節の野菜などをテーマに栄養学や食の文化や歴史にも触れ学習しています。

体力づくり「楽らく」

楽しく健康づくり！を目指し、グラウンドゴルフを通じて参加者同士の交流を図っています。

子育て支援「スマイル」

保護者が学び合い、子どもを取り巻く環境の改善や、子育てに役立つ講座を企画しています。

常磐地区子ども人権文化育成協議会　すくらむ

常磐地区子ども人権文化育成協議会（人文協）は、『地域で育てる地域のこどもたち』をモットーに、児童集会所を拠点にした活動「すくらむ」「キッズスクール」「児童集会所開館支援」を行っています。

★すくらむフェスティバル★　7/14と3/9にすくらむの活動を発表・展示しています。

★ものづくりクラブ

身近な材料を再利用し、新聞紙を使ったバッグや芋のつるを使ったクリスマスリースなどを作りました。作品を作り上げる喜びを味わっています。

★人形劇クラブ

「フルーツパフェ」

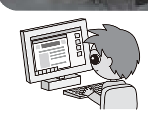
みんなで相談しながら自分たちの劇を作り上げています。保育園・幼稚園や地域のまつりで発表しました。

★ジュニア太鼓クラブ入門・初級

基礎から始めて、曲を演奏できるようになりました。地域の「赤堀ふれあいまつり」や「常磐まつり」などに出演をするたびにリズムが揃い、メリハリのある演奏になってきています。

★パソコンクラブ入門・初級

基本操作を学び、少しずつ上達してきています。自分らしい作品ができ上がり、「常磐まつり」に展示しました。



★「輪」ジュニア太鼓クラブ（中学生）

『太鼓ゆう』と一緒に活動しています。小学生のよいお手本となり、みんなを引っ張っています。

★ドリームクラブ

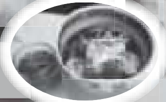
学習習慣を身につける自主学習に取り組んでいます。
社会見学では、「四日市港ポートビル・四日市市立博物館」を見学し、働いている人の話を聞きました。

高校の先生に来館いただき、高校進学ガイダンスを行いました。各高校の学習や生活の仕方などを説明してもらい、中学生が進路を考える参考になりました。

キッズスクール

キッズスクールは、子どもの居場所づくりと、遊びの活動を通して幅広い交流や相互理解を図ることにより、なかまとしてお互いを尊重しあう心を育むことを目的に、月に1回程度行っている活動です。
知的好奇心をくすぐる活動や、新しいスポーツに挑戦する企画など、子どもたちが意欲や興味・関心を持つことができる内容を計画、実施しています。

7/21 サバイバルクッキング①
講師:稲垣芳則さん



10/6 サバイバルクッキング②
講師:稲垣芳則さん

6/9 身近なもので遊ぼう!
講師:ときわ保育園の先生

7/7 つくってあそぼう!
講師:ユマニテク短期大学の先生と学生

8/4 人権のポスターを描こう
講師:山北玲子さん

8/7 習字を書こう
講師:坂下聖香さん

9/8 自然であそぼう!
講師:常磐中央幼稚園の先生

11/17 レクリエーションをたのしもう!
講師:ユマニテク短期大学の先生と学生

12/8 ピンポン大会
講師:常磐中学校の先生と生徒

1/26 木の実を使って楽しく作ろう
講師:常磐西小学校の先生

2/9 画用紙でトンボをつくろう
講師:常磐小学校の先生

児童集会所 自由開館

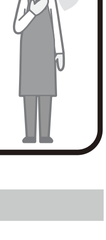
児童集会所は、人権文化の拠点として、また人を尊重するという人権の土台をつちかうなかまづくりのための場として開館しています。たくさんの子どもたちが自由に遊んだり、読書や勉強をしたりしています。また、絵本、図鑑、児童図書など本の貸し出しもしています。常磐人文協の事業として、開館の支援スタッフが、子どもたちの見守りや図書・遊具等の整備をしています。

だれでも自由に遊べます!
(未就学児は保護者同伴)

月曜日～土曜日(日・祝休み)
午後1時～5時

図書利用の紹介

人権プラザ赤堀や児童集会所では、図書の貸し出しを行っています。
人権関係の図書をはじめ、話題の図書、絵本など様々な分野の本があります。
購入希望の図書のリクエストも受け付けていますので、ぜひご利用ください。



各種講座

●手芸教室●

●パソコン教室●

●パソコン年賀状教室●

●料理教室●

●子ども料理教室●

就業支援事業

職業選択の幅を広げ、就労に有利となる資格の取得を支援しています。

今年度は「玉掛け技能講習」を実施しました。

定期講座一覧

◆手芸教室
第2･4木曜日 午後1時30分～

◆パソコン教室
随時

◆パソコン年賀状教室
年末に3回

◆料理教室
年5回　土曜日 午後1時30分～

◆子ども料理教室
年6回

この他にも、みなさんの希望などにより随時開催しますので、ご意見をお寄せください。

編集委員

市川　直樹
大田　里歩
金子　竜貴
齋藤　耕平
鈴木　茂見
◎辻山　忍
天白　豪
光本　りゑ
伊藤　陽平
片岡　愛
萱苗　靖
榊原　希
谷口　尚子
辻山　強
○古河　和義

（五十音順）
◎委員長　○副委員長

人権プラザ赤堀では相談事業を行っています。

福祉相談：毎月第２木曜日　午前９時～１１時
健康相談：毎月　　　上旬　午後２時～３時
教育相談：毎週　　木曜日　午後５時３０分～７時３０分

その他、人権、住宅、経営、就労、生活一般にかかる相談を随時受け付けています。どうぞご利用ください。

電話　351－7609　FAX　351－7608

編集後記

広報あかほり発刊以来、四十四年の歳月が流れ、年ごとに綴じてきた過去の記録は、文化の変遷を感じさせます。

編集に関わる内容やスタイルは刻々変化して参りましたが、様々な企画に集う人の姿や、掲載文などに散りばめられた人々の思いを推察すれば、刷新すべきは刷新され、人の手により連綿と引き継がれてきた精神が感じられます。

本年の表紙写真は、多文化との滑らかな交わりをねらった第一回の「AKAHORIカーニバル」が飾りました。こういったショットをはじめ、小紙の部分部分に見られる人の活動する姿が、先の世界へちょっとした歴史を残すものになってほしいと念じ、編集にあたってのご挨拶といたします。

〔表紙の題字〕
故 山城幸治郎　揮毫

ホームページもご覧ください。http://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/genre/1000100000179/index.html